

しかおい議会だより

第172号



令和7年度各会計決算審査	P2
数字で見る まちの主な財政指標	P4
クローズアップ2025 決算・事業	P5
決算・質疑	P6
9月定例議会	P8
町政を問う・一般質問	P10
第5回議員塾募集 ほか	P13
ぎかいトピックス	P14

「白蛇と責任」

撮影者 鹿追高校写真部 2年

久保貴世さん

9月15日、鹿追神社祭で撮影



鹿追町議会ホームページ

検索

■発行者 北海道鹿追町議会

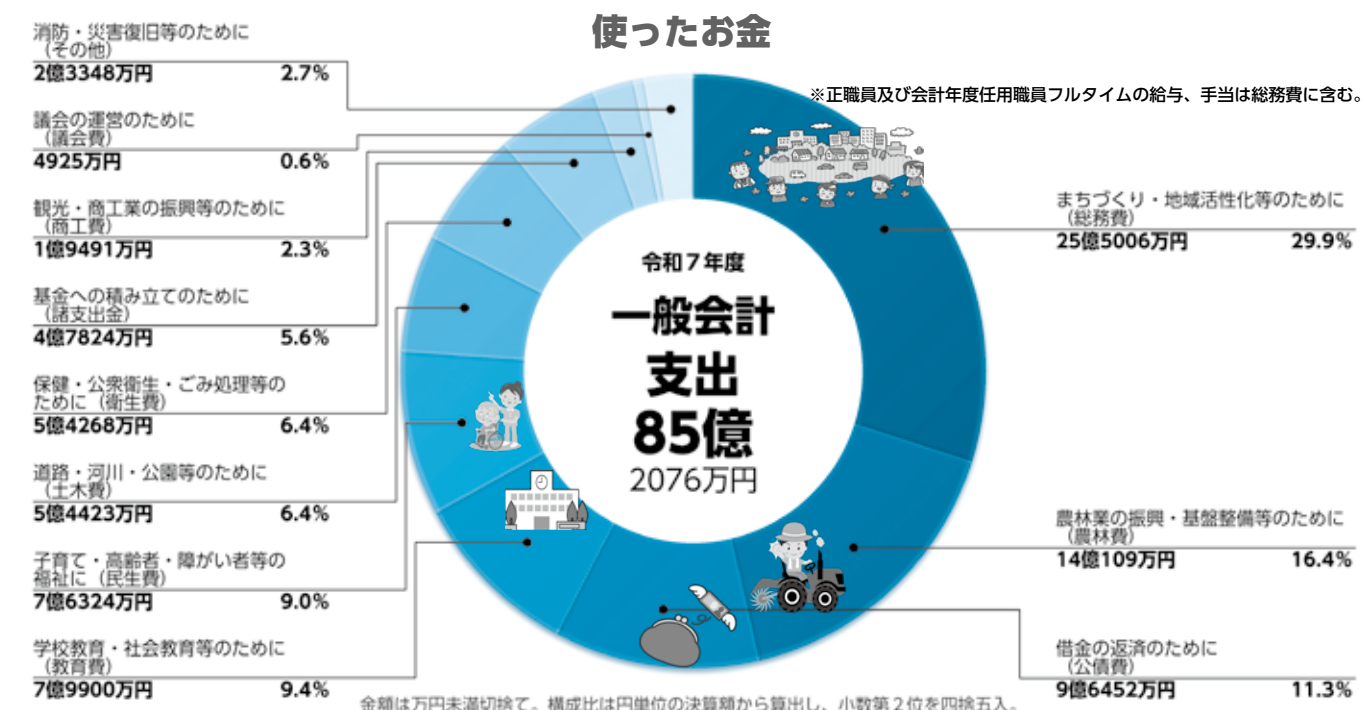
■2026（令和8）年10月25日発行

【E-mail】 gikai@town.shikaoi.lg.jp

【URL】 <https://www.town.shikaoi.lg.jp/>

2026年10月

令和7年度 各会計決算審査



POINT 防災行政無線デジタル化、役場周辺エリアZ E C化実施設計等を実施
令和6・7年度で進めた防災行政無線のデジタル化工事を完了した。
また、脱炭素先行地域の取り組みとして、役場周辺エリアZ E C化改修及び瓜幕エリア自然体験留学センター新築等事業に向けた実施設計を進めた。

一般会計 支出
前年度比 1.0%増

各会計の決算状況

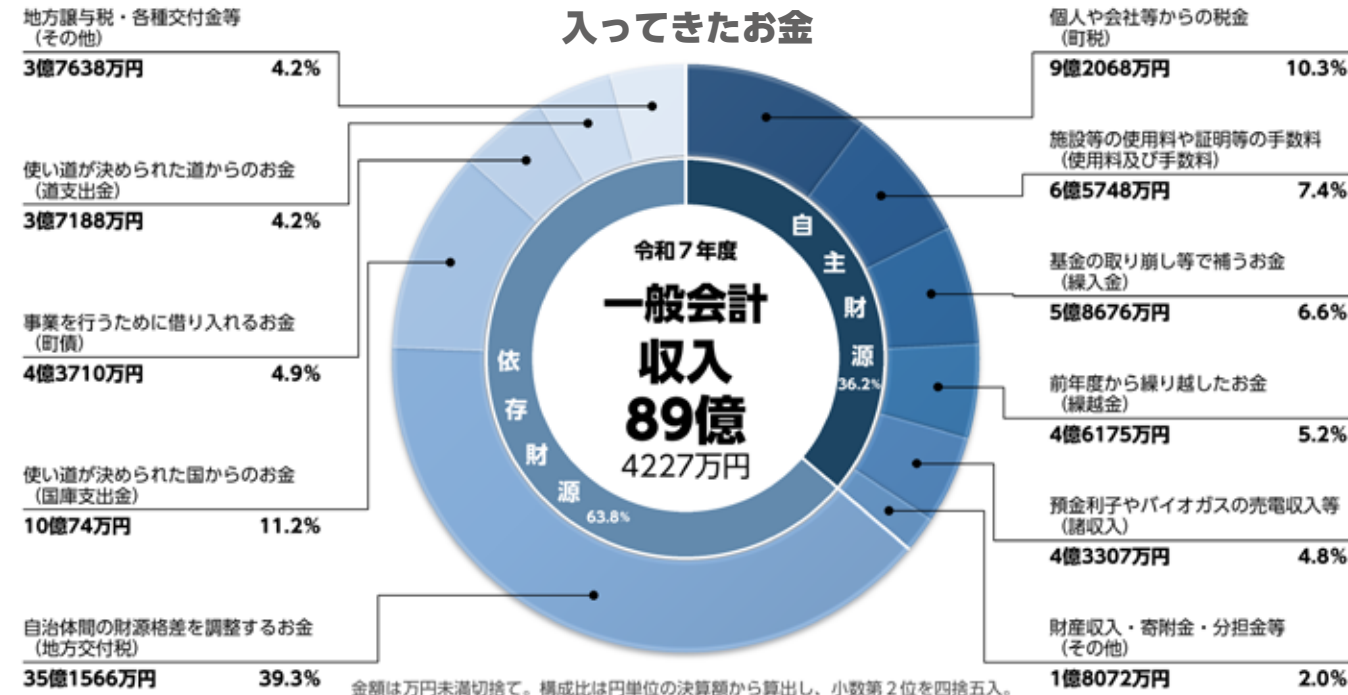
区分	歳入	歳出	収支残額	歳出の前年度増減比
一般会計	89億4227万円	85億2076万円	4億2151万円	8338万円 1.0%
特別会計	国民健康保険	7億208万円	6億9480万円	728万円 △1311万円 △1.9%
	介護保険	5億9935万円	5億9605万円	329万円 4884万円 8.9%
	後期高齢者医療	1億1524万円	1億1446万円	78万円 939万円 8.9%
合計	103億5896万円	99億2608万円	4億3287万円	1億2850万円 1.3%

区分	歳入	歳出	収支残額	歳出の前年度増減比
企業会計	国民健康保険 病院事業	収益的収支	6億7539万円	6億6484万円 1054万円 2346万円 3.7%
		資本的収支	3129万円	5574万円 △2445万円 △4764万円 △46.1%
	簡易水道事業	収益的収支	2億4947万円	1億6618万円 8329万円 3759万円 29.2%
		資本的収支	1億4677万円	2億4222万円 △9545万円 1億473万円 76.2%
	下水道事業	収益的収支	3億1304万円	2億1736万円 9568万円 △3334万円 △13.3%
		資本的収支	2億4690万円	3億6084万円 △1億1393万円 2億1024万円 139.6%

※ 企業会計の資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度及び当年度損益勘定留保資金等で補っています。
※ 文中、表、グラフの金額は1万円未満切り捨て、率は小数点第二位を四捨五入。
各項目の金額及び率の合計は、端数処理により合計額及び100%、他の資料と一致しない場合があります。

脱炭素事業を拡充

総務費
前年度より
1億7295万円増
支出構成比1.7%増



一般会計 収入
前年度比 0.5%増

POINT 町税は増加、町債(借入金)と繰入金(預金取り崩し)は減少
令和6年度と比較すると、町税が7.3%増加、ふるさと納税等の寄付金が9.2%減少、地方交付税が4.6%増加した。一方、町債(借入金)は22.4%減、繰入金(預金取り崩し)は18.7%減少した。

決算監査意見(要約)



のむら ひでお
野村 英雄
代表監査委員

○一般会計及び特別会計
令和7年度決算では、歳入・歳出ともに前年度より増加したが、形式収支では4023万円の減額となった。経常収支比率は前年度より0.5ポイント増の82.3%となった。行財政改革の一層の健全化に努める必要がある。

○簡易水道・下水道事業会計
人口減少による有収水量の減少や設備の長寿命化対策等の課題を踏まえた経営戦略を計画し、安心して利用できる事業運営に努められた。

○国保病院事業会計
入院・外来患者数減少による医療収益が減額した一方で、医療費用の増加により、国・町からの補助金が3億7千万円と大幅に増加した。医療提供体制の維持と、患者確保・収益向上が重要な課題である。

令和8年9月18日に決算審査特別委員会(川染洋委員長)を開き、令和7年度各会計決算を審査。9月25日の本会議で適正な運用と認定した。

令和7年度一般会計決算の支出では、防災行政無線放送設備整備事業、鹿追高校シェアハウス及び食事棟整備、役場周辺エリアZ E C化改修等事業、瓜幕エリア自然体験留学センター新設等事業が主である。

借入金返済の負担割合を示す実質公債費比率(3カ年平均)は、前年度同率の10.1%と横ばいで基準内の水準である。

業の実設計事業などにより85億2076万円と前年度より8338万円増となった。財政力指数・将来負担比率・実質連結赤字比率等の各指標はいずれも健全な状況を示している。

財政状況は健全を維持するも
経常収支比率(弾力性)はじわりアップ



つばやき

■十勝岳が噴火警戒レベル3。噴火発生時には鹿追町にも降灰の予想。何事も起きなければ良いですが。



役場周辺エリアZ E C化改修実施設計ほか

1 億 7652 万円

脱炭素先行地域の取り組みとして、役場周辺エリアのZ E C化改修及び瓜幕エリア自然体験留学センター新築事業の実施設計を進めた。公共施設の改修を通じ、脱炭素型の地域づくりを目指すものである。



改修中の神田日勝記念美術館

クローズアップ2025
決算・事業

防災行政無線デジタル化事業

1 億 7966 万円

令和6・7年度で進めた防災行政無線のデジタル化工事を完了した。複数の機器との連携を可能にし、スマートフォンなどへ防災情報を伝えられる体制を整えた。



防災行政無線の屋外子局

ペンギンハウス寄宿舍・食事棟整備事業

1 億 3737 万円

鹿追高校の寄宿舍ペンギンハウスと食事棟を整備した。改修に加え家具・家電や食器等をそろえ、生徒の生活環境を充実させた。



ペンギンハウス寄宿舍

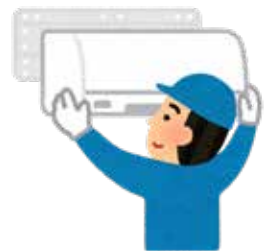


ペンギンハウス食事棟

重点対策加速化・町民向け設備補助

3481 万円

国の重点対策加速化事業を活用し、町民が設置する太陽光発電や蓄電池などを支援した。家庭での再生可能エネルギー利用を促し、地域の脱炭素化を進めた。



エアコン設置等に活用を

姉妹都市提携 40 周年記念事業

957 万円

ストニイプレイン町との姉妹都市提携 40 周年を記念し、双方で訪問団を派遣・受け入れた。記念式典や交流を通じて友好を深め、高校同士の姉妹校提携も実現した。



ストニイプレイン町訪問団歓迎夕食会 (R7.7.17)

瓜幕西団地外部修繕事業

533 万円

公営住宅等長寿命化計画に基づき、瓜幕西団地3棟8戸の外部修繕を行った。社会資本整備総合交付金を活用し、住宅の長寿命化と住環境の改善を進めた。



瓜幕西団地 残りの棟は令和8年度修繕中

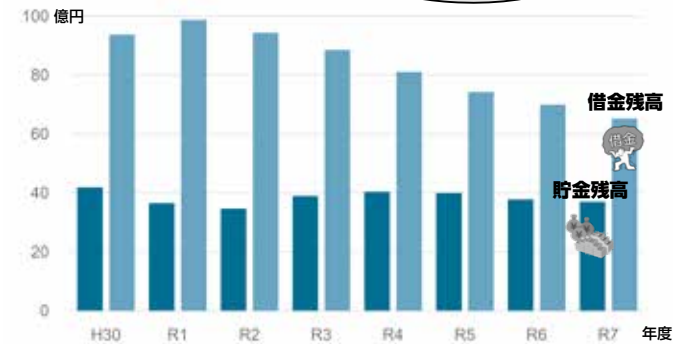
数字で見る まちの主な財政指標

鹿追町の財政は健全？
この数値から財政状況が見えてきます。

貯金と借金

貯金（基金等）は主に減債基金、鹿追高等学校支援基金、町づくり基金、環境保全センター基金などの減少により、令和6年度より7924万円減少しています。

借金（地方債）は過疎対策事業、辺地対策事業、臨時財政対策債などの償還により、令和6年度より4億7347万円減少しています。



■まちの貯金（基金等）※全会計の額

36 億 9232 万円

(R7.3 末より 7924 万円減)

町民 1 人当たり

77 万 2290 円 (人口 4781 人)



■まちの借金（地方債残高）※全会計の額

65 億 1829 万円

(R7.3 末より 4 億 7347 万円減)

町民 1 人当たり

136 万 3374 円 (人口 4781 人)



主要2基金（減債・財政調整基金）

減債基金残高
(R7.3 末より 5750 万円減)

10 億 1480 万

財政調整基金残高
(R7.3 末より 130 万円増)

5 億 6720 万

減債基金は、借金返済（公債費）を計画的に行うために積み立てる基金。財政調整基金は、年度間の財政の変動に備えて積み立てる基金。余裕がある年度に積み立て、災害等の理由で不足が生じた年度に活用します。



借金返済負担（3カ年平均の実質公債費比率）

10.1%

(前年度同率)

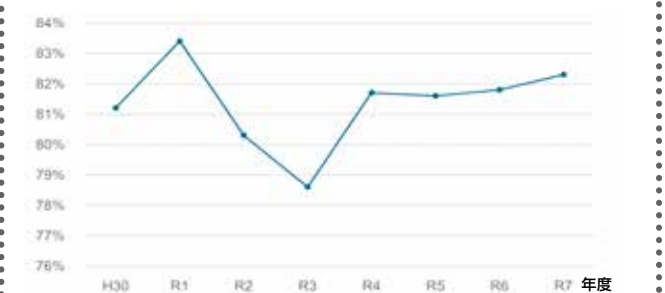
一般会計等の借金返済（公債費）等を、標準的収入で割った比率です。18%以上は借金（起債）をするときに北海道の許可が必要となり、25%以上は一部を除いて借金が不許可となります。

弾力性（経常収支比率）

82.3% (前年度比 0.5 ポイント増)

人件費や借金返済（公債費）等、固定的に支払う経費（経常的経費）に、町税や普通地方交付税等の収入（経常的収入）がどれだけ使われたのかを示します。

数値が低いほど新たな行政サービス（政策的経費）に投資でき、弾力性があるといえます。逆に 100%に近づくほど新たな投資は難しくなり、財政の硬直化が進んでいます。



財政力（3カ年平均の財政力指数）

24.7%

(前年度比 0.4 ポイント減)

財政力を示す指標で、数値が高いほど町税等の自主財源が多いことを示します。

100%との差額分は、国からのお金（普通地方交付税）で賄われます。

※金額及び人口は令和8年3月末現在の値



The 決算 質疑

令和7年度の決算審査を行うため、決算審査と議選監査委員を除く8人で構成し、委員長に川染洋委
た。委員会では42項目の質疑が行われました。ここで

特別委員会を設置しました。特別委員会は、議長
員、副委員長に山口優子委員を互選して審査を行いまし
はその一部を要約してお知らせします。



決算委員会の様子は、鹿追町議会
ホームページ「議会中継」の「過
去の中継」からご覧いただけます。

商工費

ふるさと納税

Q ふるさと納税返礼品の拡
充策は。

A 関係自治体と調整し、町
産豚肉の餃子や町内生
産者が原料を提供するポテ
トチップスなどを、10月から新
たに加える予定である。



ふるさと納税返礼品「とかち鹿追牛」

農林費

鳥獣被害

Q 鳥獣被害の状況と広域的
な対策は。



クマによるデントコーンの被害

A 農業被害は約3300万円
で、箱わな増設等に対応
している。シカ等の広域連携
を協議し、国に財政支援の充
実を求める考えである。

農林費

多面的機能支払事業



交差点の草刈り作業

Q 多面的機能支払事業の内
訳は。

A 町のインフラ維持約
3700万円、農協分約
4200万円、行政区の保全活
動約1900万円で、町内建設
業協会へ依頼する工事もある
事業である。

民生費

外国人人材

Q 介護施設の外国人職員数
は。

A しゃくなげ荘は4人、も
みじの里は7人である。
しゃくなげ荘は11月に2人
増え、6人体制となる予定で
ある。



介護老人保健施設もみじの里

総務費

賃貸住宅建設助成

Q 実績のない賃貸住宅助成
の見直しは。



賃貸住宅建設に
助成制度をご活用ください

A 建設費高騰で現行助成で
は難しいと認識し、脱炭
素への配慮や財源も含め、来
年度以降に向け助成内容を検
討する考えである。

総務費

空き家活用



空き家データベースを元に活用を促進

Q 空き家データベースの活
用実績は。

A 137件のデータベースを
整備し、その中から数件
の取引実績がある。
所有者の意向確認などを進
める考えである。

総括質疑

脱炭素支援

Q 町民に身近な脱炭素支援
の今後は。

A 住まいのゼロカーボン事
業は、J-クレジット等
の財源も考慮し継続してい
きたい。地元産エネルギーの利
用には価格が課題である。



防風保安林
J-クレジットにも活用

病院会計

病院経営改善

Q 病院の患者減少の要因と
改善策は。

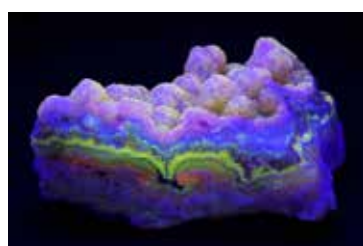


国民健康保険病院

A 内視鏡検査等の検査入院
減が主因で、常勤医2人
で診療を継続する。10月開始
の経営改善支援の改善策を検
討し、議会へ報告する考えで
ある。

教育費

オパール産地



鹿追産オパール

Q オパール産地調査後の保
全の進め方は。

A 令和7・8年度の調査で
学術的価値を確かめ、天
然記念物指定など次の段階へ
の進め方を検討する考えで
ある。

農林費

鹿追産干し芋

Q 好評な鹿追産干し芋の今
後の展開は。

A 需要に見合う生産に向
け、栽培用地の確保や人
員配置を検討し、協力農家
による栽培体制も考えていく
方針である。



鹿追産干しいも「甘姫」

衛生費

こども家庭センター

Q 令和7年度の子育て支援
体制の充実は。



こども家庭センター（トリムセンター内）

A 産後ケアや訪問支援を充
実させ、子育て支援セン
ターを1人から2人体制とし、
兼務を含め関係職員が共同で
支える体制である。

民生費

重層的支援



トリムセンター

Q 重層的支援の対象世帯の
状況は。

A 対象は14世帯で、約半
数が生活困窮に関する支
援である。住環境、ひきこもり、
ヤングケアラーなど複合的な
課題への支援である。



笹川小学校が令和10年3月閉校

9月定例議会が9月9日から25日までの17日間で開催された。条例改正、補正予算、工事変更議決等を審議し、全て原案どおり可決した。

一般会計予算は、歳入歳出にそれぞれ2億3970万円を追加し、総額を111億9793万円とした。

主な条例改正

町立学校設置条例

児童数の減少で学校の適正維持が困難なため、令和10年3月末で笹川小学校を閉校し鹿追小学校へ統合する。鹿追・瓜幕



笹川小学校 令和10年3月末で閉校

主な補正予算

(一般会計)

○緑町公園蒸気機関車移設工事 3105万円
緑町公園にある蒸気機関車を、瓜幕駅舎記念広場へ移設す

○旧第二庁舎及び周辺の解体設計 2541万円
老朽化した旧第二庁舎、勤労者会館、医師及び職員住宅に



緑町公園の蒸気機関車

る。跡地の一部3794平方メートルをNOSA―鹿追家畜診療所の増築用地としてJA鹿追町へ売却する。

また、老朽化した排水路工事も行つた。

について、解体設計を行う。令和9年度の解体を予定する。

○旧幼稚園防水改修 2027万円
老朽化した旧幼稚園舎内部で雨漏りしており、旧第二庁舎に設置の書庫を移設するため防水改修する。



建設中の瓜幕自然体験留学センター

○第3バイオガスパラント調査設計 891万円
参加予定農家12戸を基本に

○瓜幕自然体験留学センター備品 1302万円
新設する瓜幕エリア自然体験留学センターの調理器具、家具、家電、通信機器、水素容器などを整備する。国・道補助金を活用する。

第3バイオガスパラントの計画を見直し、調査設計を委託する。冬季のふん尿成分調査、施設規模・配置や収集運搬計画、地質調査を行う。国の交付金と環境保全センター基金を活用する。

○スクールバス運行体制の整備 268万円
スクールバス2台の納車に合わせ、運転士2人分の報酬及び手当を追加する。冬休み明けからの乗車時間短縮を目指す。

○交差点安全対策 174万円
危険箇所の交差点6か所に停止を促す路面標示を設ける。

○有害鳥獣駆除 114万円
鹿などの処理頭数の増加と、4月からの炭酸ガス価格の値上がりにより、残滓処理費と炭酸ガス充填費を追加する。

○地域活性化起業人(副業型) 96万円
一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム(CPF)から、十勝エリア拠点の開設備等を行う地域活性化起業人(副業型)を受け入れるため協定締結する。

全額が特別交付税措置の対象となる。

○山梨大学との連携事業 50万円

主な質疑

旧第二庁舎等解体設計

(山口 優子 議員)

問 旧第二庁舎など解体後の土地利用方針は。図書館も含め解体・一体活用は。

答 市街地中心部で重要な場所である。具体的な用途は未定だが多方面から検討する。

図書館は代替案が固まらず、財源等を踏まえ、移転等の検討を続ける。

役場周辺ZEC化改修等工事

(青砥 敏一 議員)

問 物価高騰が続けば、さらに改修工事費を増額する可能性は。

答 現時点では再変更を基本的に想定していない。ただし、今後の経済情勢の大きな変化によっては可能性を否定できず、状況を見て判断する。

まちなか会議

「議員とカフェでひとこと」を開催

8月25日、「まちなか会議 議員とカフェでひとこと」を国際交流センター平成館で開催しました。

当日は5人が参加し「鹿追高校をもつとPRし入学者確保の取り組みを継続してほしい」「国際バカロレア導入に向けて努力してほしい」などの意見が出されました。

次回は11月24日(火)11時より同館で開催予定です。お気軽にお越しください。



コーヒーを飲みながら気軽に懇談



改修中の市民ホール

契約変更

○役場周辺ZEC化改修等工事 請負契約 42億5904万円

土地取得

19万円

現在の瓜幕公共残土専用置き場を第3バイオガスパラント用地とし、代替で瓜幕西31線21番の山林4万8716平方メートルを取得する。

補聴器購入助成

24万円

補聴器購入助成8人分を追加する。

人事案件

教育委員を選任

任期満了に伴う教育委員の選任について、河邊美佳さんの再任に同意した。

任期は令和12年9月30日まで。

公平委員を選任

任期満了に伴う公平委員の選任について、山木友子さんの再任に同意した。

任期は令和12年9月30日まで。

請願・意見書

米国産生馬鈴しよの輸入解禁に反対する請願・意見書

米国産生馬鈴しよの輸入解禁は、新たな病害虫の侵入リスクを高め、北海道の基幹作物である馬鈴しよの国内生産や安全・



米国産生じゃがいも(馬鈴しよ)の輸入解禁に反対します

国土強靱化へ道路整備の推進を求める意見書

災害に強く安全な北海道を築くため、道路整備・維持管理に必要な予算の安定確保を要望する。併せて橋梁やトンネルの老朽化対策、高規格道路の未整備区間解消と4車線化、無電柱化、除排雪や通学路の安全対策を進めるとともに、公共施設等適正管理推進事業の延長、適切な事業評価、北海道開発局などの体制強化を国に求める。



町政を問う。

9月16日、6人の議員が一般質問を行った。



議員 正雄 狩野

樹木管理

Q 樹木の安全管理と通報体制は安全を優先し

情報提供手段を検討

(質問) 台風や大雪による敷地内の高木や、所有者不明の廃屋周辺の樹木・雑草による生活環境への悪影響や近隣トラブルが懸念されている。住民が安心して暮らせる環境づくりのため、町の認識と対応を問う。

(答弁) 喜井町長

住宅敷地内の樹木管理は所有者の責任を基本とし、町民課が相談や業者紹介に対応する。空家等は巡回や関係機関との連携で実態を把握し、適正管理を求める。街路樹は樹種や状態に応じて剪定等を行い、将来の維持管理を考慮した植栽を進める。伐採費助成は公平性等から現時点で設けず、他自治体の動向を調査・研究する。

(質問)

危険な枯れ木の処置や見回り、専門業者の活用、景観を意識した街路樹と交流記念樹の管理を求め



千の公園内にあるストニブレイン町との記念樹

(答弁) 喜井町長

安全管理を優先し、住民からの情報も活用する。専門業者への委託と街路樹の統一性を検討し、記念樹は適切に管理する。

(答弁) 渡辺副町長

LINE等を使った危険箇所の情報提供も検討する。



議員 川染 洋

輸入反対

Q 米国産馬鈴しょ輸入解禁への対応は

安全性の確認なく

解禁は容認せず

(質問) 喜井町長

病害虫侵入リスクがゼロと科学的に担保されない限り、一般流通用生馬鈴しょの輸入解禁は容認できない。道やJA等と連携して検疫協議の情報収集し、必要に応じて本町農業や輪作体系への影響を検討する。輸入拡大より国内生産基盤の強化を優先し、種馬鈴しょの安定供給や生産支援の拡充に向け、国への働きかけを重視する。

(答弁) 喜井町長

町長が直接意見を述べる機会はない。取引材料にすべきでないとの考えは同じである。

病害虫侵入リスクがゼロとの確認が得られない限り容認せず、他の産地等と連携して声を上げ、行動する。

(質問)

町長が輸入解禁に反対の意見を述べる機会があったか。



米国産馬鈴しょの輸入解禁に反対します

(質問)

第二庁舎の取り壊しと土地活用構想は町づくりには大きな一歩となり、非常に価値のある英断である。鹿追町公共施設等管理計画があるが、まだ活用の判断が難しい建物があり、町長の現在の考え方は。

(質問)

図書館を含む公共施設や跡地の活用を町民と考える場を設けてはどうか。

(答弁) 喜井町長

人口減少を踏まえ、30年間で公共施設の延床面積7%削減を目指す。残す施設は長寿命化し、役割を終えた施設は解体・処分する。旧第二庁舎等



旧第二庁舎

めて将来の鹿追町民に負担を残さない検討や英断を期待する。

(答弁) 喜井町長

町の考えを整理した上で、必要に応じて町民の意見を聞く機会を積極的に設ける。

修繕は予算措置や対応状況を丁寧に説明する。旧第二庁舎跡地は、後世に評価される活用策を熟慮する。



議員 青砥 敏一

行財政改革

Q 行財政改革及び職員のコンプライアンスはDXや歳出見直しを進め研修と指導で職員意識を高める



第7期総合計画の冊子

(質問)

職場の歓送迎会での未成年者飲酒の再発防止と厳正な対応を求める。約70万円で購入したパンケーキ用焼き台はどう

(答弁) 喜井町長

パンケーキまつりは、来年以降の開催に向け検討する。

(答弁) 喜井町長

人口減少を踏まえ、30年間で公共施設の延床面積7%削減を目指す。残す施設は長寿命化し、役割を終えた施設は解体・処分する。旧第二庁舎等

施設と修繕

Q 公共施設活用と迅速な修繕対応は必要に応じ意見聴取し対応を説明



つぶやき

■合同作況調査。程良い暖かさで豊作とのこと。特にキャベツには良い年。枝豆も美味かった。

第5回 議員塾 塾生募集



鹿追町議会では、2期連続無投票当選を受け、議員を目指す方や議会に関心のある方に議会を知っていただくことを目的に、なり手不足解消に向けて令和7年2月から「議員塾」を開催しております。座学では議員が講師を務め、議会の概要・立候補の方法・議員のやりがいや役割を説明します。また、塾生は本会議・予算審査特別委員会を傍聴し、実際の議会活動をご覧ください。この機会にぜひ参加してみませんか？お待ちしております。

内 容	日 時	場 所
開塾式・座学 (議会の概要・議会の取組・議員活動)	令和9年2月26日(金) [午前・午後・夜間] いずれか	委員会室
傍 聴		
総務文教常任委員会	3月 2日(火) 9:30	委員会室
産業厚生常任委員会	3月 3日(水) 9:30	委員会室
全員協議会	3月 5日(金) 9:30	委員会室
議会運営委員会	3月 5日(金) 14:00	委員会室
定例議会 一般質問	3月 12日(金) 10:00	議 場
予算審査特別委員会	3月 16日(火) 9:30	議 場
まとめ・閉塾式	3月 19日(金) 時間未定	委員会室



申し込みQR

申し込み：氏名（ふりがな）・住所・生年月日・電話番号を明記のうえ、下記のいずれかからお申し込みください。
 (鹿追町議会議務局) ・TEL：0156-66-4039 ・FAX：0156-66-4041
 ・メール：gikai@town.shikaoi.lg.jp ・申し込み QR コード

まちなか会議 議員とカフェでひとこと



議会では、皆さまとの意見交換ができる懇談の場を設けています。まちや議会に関する疑問や意見、ちょっと気になる話題等、気軽にお話しませんか？

令和8年11月24日(火) 午前11時00分 国際交流センター 平成館にて開催

あんどう みきお かわそめ ひろし
安藤 幹夫 議員と川染 洋 議員がお待ちしております (予約は不要です)



定例議会の動画をYouTubeで配信します。

右記のQRコードを読み取るか、鹿追町議会ホームページの「議会中継」ページからご覧ください。



議会中継

定例議会、決算審査特別委員会傍聴、議会報告会・広聴会、カフェでひとことは予約不要です。お気軽にお越しください。



議会カレンダー

内 容	日 時	場 所
まちなか会議 議員とカフェでひとこと	11月24日(火) 11:00	国際交流センター平成館
12月定例議会 本会議 初日	12月 9日(水) 10:00	議 場
12月定例議会 本会議 (残り)	12月 10日(木) 10:00	議 場
12月定例議会 本会議 一般質問	12月 16日(水) 10:00	議 場
12月定例議会 本会議 一般質問 (残り)・最終日	12月 17日(木) 10:00	議 場

【お詫びと訂正】

令和8年7月25日発行の議会だより171号において、記載内容の一部に誤りがありました。謹んでお詫びいたしますとともに、次のとおり訂正いたします。(鹿追町議会ホームページ掲載のPDFは修正済みです)
 ①2ページ表題：

(正) 保育園留学滞在の住宅改修、エシカルタウン鹿追集会所の運営を補助
 ②2ページ3段目小見出し：
 (正) ○2 運営経費補助 370万円
 ③2ページ3段目本文：
 (正) 集会所の運営経費を実施主体の社会福祉協議会へ補助する。



さきやすと 議員

国保負担

Q 国民健康保険負担の抑制策は

A 負担増に慎重に対応

(質問)

国民健康保険は「加入者の高齢化」や「医療費の増大」により構造的に保険料が高くなる傾向にある。平成30年度の都道府県単位以降、さらに令和12年度には全道統一保険料率を目指す方針が示されている。

全道統一に向けたプロセスの中で、鹿追町の標準保険料率は全道水準に向けてどういった対応を考えているのか。今後数年間の改定の見通しも含め町の見解を伺う。

(答弁) 喜井町長

全道統一の保険料の急上昇を防ぐため、道の標準保険料率を基に、毎年度、協議会の審議を経て段階的に税率へ反映する。

る。健診・保健指導、医療費適正化、後発医薬品の利用促進、収納率向上に取り組み、保険者努力支援制度を活用して財政負担を軽減する。

国保事業基金の計画的な活用も検討し、町民負担への影響を抑える。

全道統一により本町の負担増が見込まれ、一般会計からの繰り入れで少しずつ増加を抑えているが、令和12年の統一時の保険料率を勘案しながら慎重に検討する。

(答弁) 喜井町長

全道統一により本町の負担増が見込まれ、一般会計からの繰り入れで少しずつ増加を抑えているが、令和12年の統一時の保険料率を勘案しながら慎重に検討する。



特定健診を受診しましょう

(質問)

近年、計画策定等の外部委託が増えているが、職員が主体となつて政策や計画をつくり、知識やノウハウを庁内に蓄積することが重要ではないか。生成AIの利用による資料の誤りが散見され、チェック体制を整備すべきである。

過去5年間の委託実績、委託の必要性の判断基準、費用対効果の検証は。成果物の正確性・妥当性の確認体制は。外部事業者がAIで資料を作るのなら、職員がAI活用で業務を担えることも増える。委託の妥当性を再検証してほしい。また、AI活用のルールとチェック体制について問う。

(答弁) 喜井町長

外部委託は、専門性や客観性が必要な業務などについて、費用対効果等を総合的に判断している。令和3〜7年度の委託料は約66億1300万円。企画立案は町が主体となり、職員が事業者との協議を通じて知識を蓄積する。成果物やAI作成資料は所管課の複数の職員で確認する。

ガイドラインと研修を通じ、内製化(外部委託に頼らず、役場職員だけで行うこと)の可能性を検討したい。

(質問) 計画策定・基本構想・コンサルティング等で5年間で約1億2千万円を外部委託している。外部

外部委託

Q 事業計画の外注のあり方とAI作成資料のチェック体制は

A 内製化の可能性を検討し確認を徹底したい

事業者の提案や資料に依存すれば、職員が地域課題を自ら考え、政策をつくる力が失われるのではないか。生成AIの活用はいいが、資料の誤りを防ぐための具体的な確認手順や研修、再発防止は。課を横断した相互点検をしてはどうか。

(答弁) 喜井町長

資料について一部確認が十分でなかったことは認める。職員の主体性や内製化は重要と認識している。今後はさらに確認を徹底し、必要に応じて関係課と連携するなど、チェック体制を強化する。



暮らしの声を議会へ

笹川寿会とのまちなか会議



笹川寿会の皆さまとのまちなか会議

7月12日、笹川寿の家で総務文教常任委員会（委員長 山口優子）と笹川寿会とのまちなか会議を開き、寿会の会員11人が参加されました。

多かったのはタクシー券や免許返納の話題でした。

情報の届け方にも課題があり、免許返納に伴う支援制度は、ホームページだけでなく寿会の例会で職員が直接説明してほしいとの声も。

地域包括支援センターを知らない方もおり、身近な相談窓口としての周知も求められています。

会員の減少で研修旅行などの継続も難しく、福祉バスの最低利用人数に届かず旅行を見送った例もあったことから、隣接地区との合同開催も提案されました。

このほか、防災行政無線の聞き取りにくさ、介護人材の不足、商品券を辞退した場合の扱いなど、身近な課題について意見を交わしました。

高齢者に情報を確実に届け、相談につなげる。その大切さを改めて共有する機会となりました。

（取材 金子孝伸）



読まれる紙面を目指し

仁木町議会を視察



仁木町議会を視察

8月17日、広報広聴常任委員会広報部会（部会長 佐々木康人）5人が、議会広報紙の編集方法について、仁木町議会を視察しました。

仁木町では議員全員が編集に関わり、発行ごとに4回程度集まって作業しています。町民が多く登場する紙面や、目を引く見出し・レイアウトなど、手に取って読んでもらう工夫を学び

ました。一般質問後の進展を紹介する「質問の行方」の取り組みも参考となりました。

「質問の行方」は、定例会や委員会での審議から一般質問に関連する動きを捉え、その後の進展を町民に伝えるものです。質問と答弁を掲載するだけでなく、継続して経過を知らせることの大切さを学びました。他の広報紙や雑誌の見せ方を参考にするなど、読み手の立場で紙面を考え、議会の活動を身近に感じてもらう工夫についても理解を深めました。

意見交換では、議員と事務局の役割分担や、担当者が交代しても編集の知識・技術を引き継ぐ体制づくりについて考えました。

今回の学びを生かし、議員自身が編集に関わりながら、議論の内容を分かりやすく伝え、町民に親しまれる議会広報紙づくりを目指します。

（取材 佐々木康人）

編集後記

9月定例会は令和7年度の決算を審査する大切な議会でしたが、急な病で欠席してしまい、町民の皆さまに申し訳なく、悔しい思いでいっぱいでした。

そんな中、同僚議員からのお見舞いの言葉に本当に励まされました。療養して気づけたことも、これからの活動に活かしていきます。

健康だからこそ笑顔になれる。皆さまもどうぞお体を大切に。

議会広報部会 部会員 かね 金子 孝 伸

議会広報広聴常任委員会 広報部会

部会長 佐々木康人
副部会長 山口 優子
部会員 青砥 敏一
金子 孝伸
黒井 敦志